

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

平成29年11月1日発行 通巻262号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・青年委員会…………… 2
あーき塾 まちあるきシリーズ
Around Shiga vol. 2 長浜
- ・青年委員会…………… 3
あーき塾 まち歩きシリーズ
Around Shiga vol. 3 堅田
- …………… 4
- ・第8回 全国建築士フォーラムin京都
「人+まち+建築士」へ周知する事の
重要性、周知の仕方や効果を学ぶ～
- ・青年委員会
あーき塾 建築模型で
住宅リフォーム提案力UP 報告
- …………… 5
- ・第3回 くらしとすまいをみつめる
地域にある気候風土に適応した住宅
を造るために
- ・女性委員会…………… 6
「魅力ある和の空間」ガイドブック
(データ版)掲載建物のご推薦のお願い
- ・女性委員会
Doシリーズ No.75
青岸寺で香道を体験 事業報告
- ・地区だより…………… 7
- ・ポリテクカレッジからのお知らせ… 8
- ・11月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第17回
川島酒造株式会社 (高島市新旭町)



川島酒造株式会社 松三蔵、店舗、松蔵庵

川島酒造は、JR湖西線 新旭駅を北東へ徒歩約15分、高島市新旭町の霜降（しもふり）地区にある慶応元年（1865年）創業の酒蔵である。霜降と針江は生水（しょうず）の郷と呼ばれるほど湧き水の豊富な地域で、集落の中を巡る水路やその水を利用した川端（かばた）は独自のシステムと文化が息づいている。「針江の生水」は2008年平成の名水百選に指定され、針江・霜降の水辺景観は2010年「重要文化的景観」にも選定されるほど豊かな環境の中で酒造りは行われている。酒造りを統率し、地元高島の蔵人をまとめるのは能登杜氏の向守三郎氏である。

表通りを写した写真は、奥から松三蔵、母屋、松蔵庵である。松三蔵は創業当時からの敷地内で最も古い蔵であり、元々は仕込みタンクの並ぶ仕込蔵であったという。現在は敷地の最も奥にある仕込蔵から工程順に表側へと進み、最後工程である製品倉庫として利用されている。近年外部を修復しており漆喰と焼杉の美しい木造蔵である。母屋は試飲もできる直売所と事務所がある。松蔵庵は元々文庫蔵であったものを応接室として改装している。どの建物も歴史と風情を活かしながら、手間をかけた美しいメンテナンスが施されており訪れる者の目を虜にする。

代表銘柄「松の花」は酒蔵を建てるために伐採した古い松への思いを込めたとされる。「酒は風土に在り」をモットーに造り続けてきた酒は、地の米と水を大切にきた真の地酒だと感じた。見学の際に見えるあちこちに飾られた前社長の油絵も趣があり一見の価値がある。

(前谷吉伸)



青年委員会

あーき塾 まちあるきシリーズ ~Around Shiga vol.2 長浜~



滋賀の魅力を伝えることのできる人材の育成を目的とし、滋賀のまち歩きを通じて地域の魅力発見や各年代・地域間で意見交換できる場として、Around Shigaシリーズを開催します。

第1回の甲賀・水口に続き、第2回はまちづくりが盛んな長浜を舞台にまち歩きを開催します。

湖北地域会と協力し、長浜駅前を中心に重要文化財大通寺、ユネスコ無形文化財である曳山祭の象徴である曳山博物館、明治時代の迎賓館である慶雲館などを見学します。県内の観光客ランキング上位である黒壁ガラス館も近くにあり、散策中または解散後にゆっくりお楽しみいただけます。

当日は、長浜ボランティアガイドによるまちづくりや伝統文化などの解説も予定しておりますので詳しく学んでいただけます。みなさまのご参加をお待ちしております。

日 時：平成29年11月18日(土) 9:45~15:45

会 場：長浜旧開知学校、大通寺、曳山博物館、安藤家、慶雲館など

参加費：建築士会会員 1,000円 建築士会非会員 2,000円

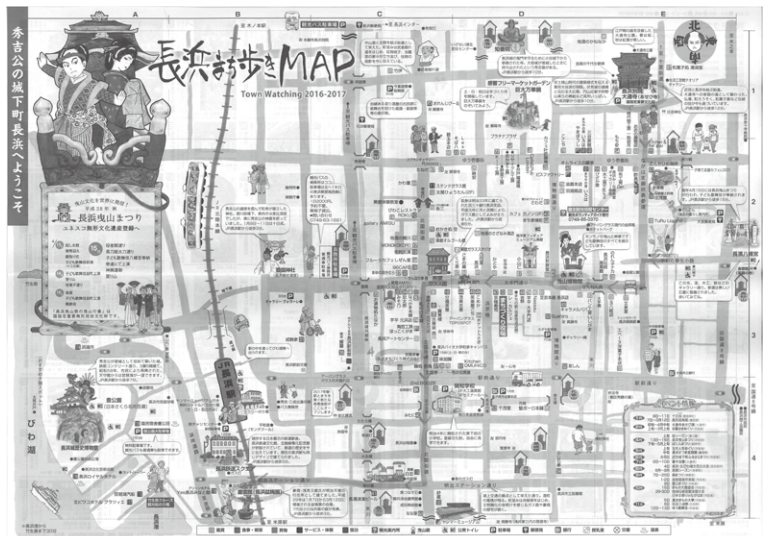
定 員：20名予定(先着順)

申込締切：平成29年11月15日(水) CPD：4単位(予定)

その他：台風、雷雨などの荒天時、地震などの天災発生時は止むを得ず中止とさせていただきます。
昼食代の実費(約1,000円)をご負担いただきます。



大通寺



長浜まちあるきMAP

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

青年委員会 あーき塾まちあるきvol.2 参加申込用紙

氏 名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス	携帯電話	● 会 員 ● 非会員
	FAX番号		
CPD番号		地 区 名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **FAX.077-523-1602** (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

協力／滋賀県建築士会 湖北地域会



青年委員会

あーき塾 まちあるきシリーズ ~Around Shiga vol.3 堅田~



滋賀の魅力を伝えることのできる人材の育成を目的とし、滋賀のまち歩きを通じて地域の魅力発見や各年代・地域間で意見交換できる場として、Around Shigaシリーズを開催します。

第3回は湖西滋賀地域会と協力し、さまざまな歴史的文化の宝庫、大津北エリアの堅田のまち、今堅田と本堅田を歩きます。まずは今堅田、有形文化財の出島灯台や奎兵衛造船所（現在、うみのこが造船中）の外観を見学し、本堅田では近江八景で知られる浮御堂、有形文化財の居初家、ウィリアム・メレル・ヴォーリズの建築である堅田教会の見学を行います。

当日はガイドによる解説も予定しておりますので堅田の歴史文化についても詳しく学んでいただけます。みなさまのご参加をお待ちしています。

日 時：平成29年12月2日(土) 12:45~17:10

開催場所：大津市今堅田、本堅田エリア

集合場所：JR堅田駅 東口

解散場所：ヴォーリス堅田教会見学後、現地解散とさせていただきます。

参加費：建築士会会員 1,000円 建築士会非会員 2,000円

定 員：20名予定（先着順）

申込締切：平成29年11月24日(金)

C P D：4単位（予定）

協 力：湖西滋賀地域会

そ の 他：台風、雷雨などの荒天時、地震などの天災発生時は止むを得ず中止とさせていただきます。



ヴォーリス堅田教会



居初家・天然図画亭



浮御堂

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

青年委員会 あーき塾まちあるきvol.3 参加申込用紙			
氏 名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連 絡 先	メールアドレス	携帯電話	● 会 員 ● 非会員
	FAX番号		
CPD番号		地 区 名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **FAX.077-523-1602** (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

協力／滋賀県建築士会 湖西滋賀地域会

第8回 全国建築士フォーラムin京都 「人+まち+建築士」 ～周知する事の重要性、周知の仕方や効果を学ぶ～

日 時：平成29年12月7日(木)

フィールドワーク 13:30～16:00 京都市「六原学区」まち歩き
スタディーワーク 16:30～19:00 三部構成によるディスカッション
交 流 会 19:00～21:00

開催場所：京都市勤業館みやこめっせ 地階第1展示場A/B面

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1（二条通東大路東入）

参 加 費：2,000円 ※交流会参加費は、別途5,000円になります。

申込方法：参加申込用紙にご記入の上、事務局まで（申込締切 11月10日(金)）

お申込みいただいた方へは、後日詳細をご連絡させていただきます。

第8回全国建築士フォーラム 参加申込用紙

氏 名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連 絡 先	メールアドレス		
	FAX番号	携帯電話	
CPD番号		地 区 名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局〈FAX.077-523-1602〉（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

青年委員会

あーき塾 建築模型で住宅リフォーム提案力UP 報告

9月21日(木)と9月30日(土)の2日間にかけて、建築模型講習を開催いたしました。講師には奈良県より株式会社大和工藝で建築士会会員の谷 幸治氏、TVチャンピオン建築模型王の林 洋平氏にお越しいたいただき、建築模型の基礎をご指導いただきました。

1日目の講習は、カッターナイフの使い方から学び、まずは立方体を製作しました。たったの6面ですが、3種類のパーツを作り組み合わせます。その後、サザエさんの家をモデルにした平面図をもとに外壁、間仕切り壁、屋根、天井を製作し、リフォーム前の木造平屋建て住宅を完成させました。模型製作に集中していると驚くほど早く時間が過ぎていきました。

2日目の講習では、それぞれのライフスタイルをイメージしたリフォーム案をもとに、内装模型から始まりました。そして間取りを差し替えることのできるリフォーム模型が完成しました。さらに外構工事として塀や庭を作り、立派な建築模型に仕上がりました。最後に完成したプランを、参加者の前でプレゼンテーション、意見交換を行いました。参加者それぞれの考え方があって、おもしろく勉強になりました。

2日間を通して講師の方にわかりやすく丁寧にご指導いただき、模型制作に夢中になり、楽しく勉強をさせていただきました。空き家を活用した提案など、業務の中で伝える手段の一つとして建築模型が加わり、実践していきたいと思えます。

青年委員 柿本 淳



模型製作に取り組む参加者



完成模型をもって集合写真

第3回 くらしとすまいをみつめる 地域にある気候風土に適応した住宅を造るために

パッシブデザインの基礎を知り、省エネルギーな暮らしを
提案するために必要な設計手法と事例を学ぶ



「くらしとすまいをみつめる」をテーマに、社会的課題の解決方法やストック社会に向けて、建築士として知っておくべきことを主眼においた継続セミナー・勉強会も3回目を迎えました。

近年は住宅の省エネルギー化に向けて、様々な施策が始まっています。外皮計算や一次エネルギー等、基準に応じた住宅を計算し、提供することが義務付けられ始めました。同時に、地域で長い年月をかけて培われてきた伝統的な住宅を造り続けることができるような認定ルールの策定も始まっています。

私たち建築士は、その両方の特徴を捉え、未来に残す建築物について考えなければなりません。

そこで、本セミナーでは、気候風土を生かした住宅を作るために必要なパッシブデザインの基礎を知り、省エネルギーな暮らしを提案するために必要な設計手法と事例を学びたいと思います。

日 時：平成30年2月10日(土)

13:00から受付開始

開催場所：日本綿業倶楽部（綿業会館）

〒541-0051

大阪市中央区備後町2丁目5番8号

参加費：1,000円（建築士会会員）

1,500円（一般・会員外）

CPD単位：申請中

申込締切：平成29年12月20日(水)

◆タイムスケジュール◆

13:00 受付開始

13:30 講演会開始

15:00 休憩

15:15 質疑応答

15:45 終了

講師 豊田 保之(とよだ やすし)氏

1974年京都市生まれ。大阪芸術大学芸術学部建築学科卒。

瀬戸本淳建築研究室、Ms建築設計事務所を経て、2005年 トヨダヤスシ建築設計事務所開設。京都で代々続く左官職人の家に生まれた経歴から、土壁や漆喰など左官職を生かした家づくりを行いつつ、土壁の熱環境や省エネの調査・研究を続けている。

受賞歴：第五回サステナブル住宅賞 国土交通大臣賞

他 多数



※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

地域にある気候風土に適応した住宅を造るために 参加申込用紙

氏 名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス	携帯電話	● 会 員 ● 非会員
	FAX番号		
CPD番号		地 区 名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **FAX.077-523-1602** (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

主催・企画／近畿建築士会協議会女性部会

「魅力ある和の空間」ガイドブック（データ版） 掲載建物のご推薦のお願い

日本建築士会連合会女性委員会では、「魅力ある和の空間」ガイドブック（データ版）を作成することといたしました。

全国各地で公開されている和の空間の事例の中から、魅力的なもの、これからの居住環境への示唆に富んでいるものを選んで紹介することで、日本の住まいや和の空間や和の要素を改めてとらえ直し、今後の設計活動、居住環境づくりに活かしていただければと考えています。建築士ならではの視点で「魅力ある和の空間」を滋賀県からも3物件程度を推薦することとなりました。

建物や空間の建築年代は特に問いませんが、見学可能であることが条件です。

募集期間：11月25日まで

ガイドブック掲載内容

- ①建物名称
- ②写真（外観・内観等、各県士会委員が撮影した著作権料のかからない写真）
- ③建物概要（簡潔に書く）
- ④建物・空間等の説明
- ⑤推薦者のひとこと（推薦者がコメントを書く）魅力と見学ポイント
- ⑥建物データ（所在地、連絡先、アクセス、HPアドレス、見学方法など）

募集要項詳細は、滋賀県建築士会HP、または（公社）滋賀県建築士会 事務局077-522-1615まで。

青岸寺で香道を体験 事業報告

2017年10月14日(土)午後1時～4時30分 参加者21名を迎え、「青岸寺で香道を体験」を開催しました。

最初に、青岸寺庭園を眺めながら先代ご住職 永島氏より、青岸寺の歴史のお話を聞きました。

その後、平成28年5月より着工中の境内の書院保存改修工事の現場を実際に見学しました。設計・監理をされている一社 京都伝統建築技術協会 伝統建築研究所 浜野豪氏並びに施工・管理されている株式会社 西澤工務店 西澤重剛氏から、随時、必要箇所のご説明を聞き、より深く学ぶことが出来ました。書院見学会には米原市教育委員会歴史部文化財保護課 高橋氏も駆けつけてくださいました。当時の木材に書かれたという大変貴重な図面まで見ることができ、伝統建築の大切さと、その大切な建築物の保存の重要性を感じました。

そして、いよいよ、本堂をお借りして、霞風会 早川光菜氏ご指導のもと、組香（香あそび）体験をしました。月影香という組香遊びの中で、月について「朗月 佳月 淡月 曇天」という言葉を教えて頂き、言葉の奥深さを学びました。

最後に、美味しいお菓子とお抹茶を頂きながら、組香のお話や、本日の感想等を楽しくお話をしました。

このような伝統のある日本の美に触れられ、大変貴重な一日を過ごさせて頂きました。今後も伝統建築の保存についていろいろな視点から学んでいきたいと思います。



青岸寺先代ご住職の講話



書院保存改修工事現場見学



組香あそびの説明を聞く参加者



参加者集合写真

甲賀地区

会員交流事業 報告

10月8日(日)に会員交流事業として東海道浪漫歩行2017の15kmウォークに参加しました。

東海道浪漫歩行は、2014年(公社)水口青年会議所のまちづくり事業として生まれ今年で4回目になり、甲賀湖南の地域資源の一つである石部宿・水口宿・土山宿をクローズアップし、30kmという歴史街道を歩いてまちの魅力を歩く目線で感じ、このまちの魅力を再認識して、まちへの誇りと愛着をさらに強めることを目指して取り組まれています。

今回甲賀地域会としては、水口宿から土山宿までの15kmウォークに会員・会員家族・子供・賛助会員の10名が参加し、約4時間かけて歩きました。

ウォーク中に参加者から“ここにこんな建物が建っていたなんて初めて知ったわ”と言った普段車で通っているだけでは気がつかない景色を感じることができ大変有意義な一日でした。



水口宿スタート前



土山宿にて全員ゴール

研修会事業「甲賀市都市づくり懇談会」

10月11日(水)、地区の研修会事業として「甲賀市都市づくり懇談会」を甲賀市役所にて開催しました。

この事業のはじまりは、甲賀市の市街化調整区域における土地利用規制の緩和について、甲賀市都市計画課様と勉強会を開くものでありました。しかし市の都市計画施策の検証時期と同じタイミングであったという偶然もあり、もっと大きな視点でこれからの甲賀市の都市計画を考える機会にできないかと、甲賀地区から建築・土地利用に関係する団体様にお声かけをさせていただき、懇談会という形で開催することとなりました。

二部構成の前半は都市計画課様から甲賀市の都市づくりについての講義、後半は具体的なテーマとして貴生川駅周辺の土地利用について、参加者全員によるワークショップ形式の懇談を実施しました。

建築士会会員はじめ(公社)宅地建物取引業協会

会員様、また甲賀測量設計協会会員様と、まさに今甲賀市を中心に実務をされる専門家の方々にお集まりいただき、大変活発な議論・質疑、ワー



中本地区代表挨拶

高島地区

平成29年度高島市総合防災訓練に参加協力

平成29年9月3日(日)午前7時00分に高島市を震源とする震度7の地震が発生、市内各所でライフラインが寸断され、建物の倒壊や火災により大規模な災害が発生したとの想定のもと、高島中学校を中心として、地元住民や関係機関670名が参加し実施されました。

高島地区委員会より、応急危険度判定士4名を派遣し訓練のトップバッターとして避難所施設の安全確認を行い現場指揮本部に報告しました。

今後もこうした訓練を通じ、災害時における建築物の安全確認が速やかに行えるよう努めていきます。



新入会員歓迎家族BBQ大会

9月23日(土)今津町の標高550mの山頂から琵琶湖を望めるビラデスト今津で、『新入会員歓迎BBQ大会』を開催いたしました。一週間前の台風の影響か、前日まで不安定な天候がつづいていましたが、当日の山頂は、秋の風を感じる気持ちのよい晴天に恵まれました。

今年度は、新たに仲間となった会員と会員家族との親睦会も兼ね、30名の方に参加いただきました。まさに食欲の秋が到来、美味しい飲み物とお肉を堪能しながら、和気あいあいと会話も弾み、バーベキューサイト前の芝生広場では子供たちとのサッカーに張り切る会員もあり、大自然のなか世代を問わず親睦を深め、情報交換に有意義なひとときを過ごせました。「また来年も」と言う声をたくさん聴き、これから毎年恒例行事にできるよう企画していきたいと思います。中村民雄



クシヨップを行っていただきました。

建築関係とはいえやはり異業種の方々との関わりは非常に新鮮であり、白熱のあまり当初予定しておりました時間を超過して懇談会は終了しました。

今回議論された課題、提案などは改めてまとめられ、情報は共有されますが、より大きな視点に立って多角的に自分たちのまちを考え、またそれを日頃の業務に生かすことを考えられる貴重な機会となりました。



ワークショップ形式による懇談会

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH041	木造住宅の省エネ設計技術	¥6,500	10	11/15(水)、22(水)	10:00～17:00
CH011	ネットワーク工程管理技術	¥7,500	10	1/10(水)、13(土) ※日程変更	10:00～17:00
CH021	実践建築一般図・詳細図作成技術 (2次元CAD: AutoCAD編) New	¥7,000	10	1/14(日)、15(月) ※日程変更	10:00～17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。お早めにお申し込み下さい。

講座の内容については

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_h29.html

(電子パンフレット、建築・住宅関係コース、各講座の詳細へのリンクもあります)

ネットでの受講申し込みは

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H29/entry2017.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。

下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属

滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

新入会員のご紹介

彦根	上田	有祐	大津	玉置	雅彦
大津	新井	昌福	大津	中澤	盛一
大津	谷口	訓通	大津	松田	茂之

会員数状況表 (平成29年10月12日現在)

支部	総数	支部	総数	支部	総数	支部	総数	支部	総数
大津	203	甲賀	81	彦根	88	高島	65	計	877
湖南	154	湖東	125	湖北	132	湖西滋賀	29		

11月の暦

1	水	先負	平成29年度建設事業功労 滋賀県知事表彰 ヘリテージマネージャー実 行委員会	10	金	赤口		19	日	大安	
2	木	仏滅		11	土	先勝	第6回「ヘリテージマネー ジャー育成講座」 近建青「滋賀会議」 事務局引越し(3Fへ)	20	月	赤口	
3	金	大安	文化の日					21	火	先勝	
4	土	赤口		12	日	友引	事務局引越し(3Fへ)	22	水	友引	
5	日	先勝		13	月	先負		23	木	先負	勤労感謝の日
6	月	友引		14	火	仏滅		24	金	仏滅	
7	火	先負	情報広報委員会 空き家管理等支援委員会	15	水	大安		25	土	大安	第7回「ヘリテージマネー ジャー育成講座」
8	水	仏滅	第3回 定期講習 第3回 監理技術者講習	16	木	赤口	四役会 四役・委員長会議	26	日	赤口	
9	木	大安	滋賀県被災建築物応急危 険度判定士 登録認定講習会	17	金	先勝		27	月	先勝	
				18	土	仏滅	まち歩きシリーズ Around Shiga vol.2 長浜	28	火	友引	
								29	水	先負	
								30	木	仏滅	

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第17回 川島酒造株式会社(高島市新旭町)

写真は平成元年に建てられた「平成蔵」と呼ばれる鉄筋コンクリート造の仕込み蔵である。鯉の寝床のように奥に細長い敷地の最も奥にあり、裏の路地からこの蔵へ直接原料の搬入が可能である。1階手前には洗い場、蒸米、放冷場、奥に仕込みタンクがあり、2階には麹室と酒母室がある。自然との調和を大切に寒造り(かんづくり)にこだわり、冬場の冷気を取り込める窓が印象的である。隣接する西(左側)には昭和40年頃築の貯酒蔵「弥之蔵」がある。ジャケットを巻き冷水を通したタンクでじっくりと出荷の時を待つ酒が眠っていた。 代表銘柄:「松の花」「藤樹」 (前谷吉伸)

